

かけはしセミナー2022

昔の帰国生・今の帰国生

2022年5月22日に大阪府立住吉高等学校の清水寛史先生をお迎えして、かけはしセミナー2022をインタビュー形式でかつオンライン開催という新たな試みで行いました。清水先生にはかけはし会報46号(2021年秋冬号)にて帰国生としてのご自身の体験をお話いただきました。その記事の反響は大きく、もっとお話を聞いてみたいという多くの要望から本日の講師をお願いして、ご自身のさらなる体験談やそのときの思い、英語の勉強法、教授法などをおうかがいしました。

講師プロフィール

大阪府立住吉高等学校首席 清水寛史 先生

1978年生まれ。

中学2年生でメキシコに父親の仕事の関係で赴く。

現地では2年間インターナショナルスクールに通う。

帰国後大阪府立住吉高校に編入。

早稲田大学第一文学部を卒業後、高等学校英語科教諭となる。



インタビュー要旨

《インター校時代のこと》

一 メキシコのインター校でどのようなご苦労をされましたか。

◆ 苦労というか、まず世界が違うというか別世界で色々なことが動いていて、言葉が分からないというのはこういうことなのかと。何も伝えられないし何も分からないし、何とも言えない孤独感、そこが一番つらかったかな。それが絶対に嫌だと思って、辞書も引いたし、スポーツに誘ってもらったりしながら頑張りその世界に溶け込むことをこのとき一番大事にしたんだろうなあ、ただあまり考えなかったですね。悔しかったと言うか、何しているんだろうというのがあるって、自分自身に能力がないというのは強く感じました。

あとは、日本人として、日本というものに対してすごく意識が高まって好きになりました。インター校では国籍が40以上の生徒がいて、みんな自分のアイデンティティを大事にしている。そんな中で過ごしたのに、日本人として日本のことをあまり知らなかった自分、それを伝えられなかった自分が辛かったです。今でも日本が大事だし好きです。

一 孤独感はどのように克服されたのですか。

◆ 授業中知らない単語が出てきたらひたすら辞書を引いていて、そうしている間に授業はどんどん次のところに進んでいてという悪循環を繰り返していたのだと思います。辞書を引いている間って多分コミュニケーションの力ってあまりつかないと思います。友だちに「さっき言っていたのは何？」と聞けたらいい。わからない単語に線を引いて意味を書くのは確かに必要なんですけれど、授業について行こうと思ったらそんなことはやっていられないので、出てくる単語を何とかして分かって使えるようになっていかなければと思いました。気がついたらしゃべれて、輪の中にいて、先生の言うことが分かって、9カ月か10カ月ぐらいたっていたという状態でした。

一 先生は、英語を英語で考えるということがありますか。

◆ よくありますね。今でもネイティブの先生と英語で授業をしているときに、急に日本語でやれと言われたら日本語が出てこなかったり、スイッチ的なものがあるかと言われたらそれは難しいですが、今から英語、となったときには英語で捉えています。

コミュニケーションの英語って辞書で引いてわからないところもあります。すごく記憶に残っていることですが、最初 "I've got to go."の"ve got"が全く分からなかったんです。「この現在完了形はなんだ？」と。I've got to～と辞書に載ってはいるんですが、「あーこれはしゃべるときに言うだけなんだ」と知りました。そんな簡単なことを家庭教師の先生に教えてもらいました。ここでこう言ったらいいよとか。学校では聞きづらいし書いていなかったことを教えてもらって助かった記憶があります。

《帰国生であることの意識》

一 ご自分が帰国生ということは意識されてきましたか。

◆ 帰国生だから、ずっと日本にいた生徒より英語ができなければとか、国語は負けてもしょうがないとか全然思ったことがないんです。小学生のときの先生に、「自分のことをあまりべらべらしゃべっちゃいかん、しゃべる男は嫌われる」と言われました。だからあまり帰国生であることを話したことがなくて、メキシコから帰ってきたからどうこうと言われるのが好きじゃなかったですね。住吉高校に入ってそこで普通に過ごせたらそれで良かったかな。でも周りからはよく帰国生だと言われたんです。英語の先生なんかは僕に教科書を読ませた人もいましたし、当時は珍しかったみたいで先生よりも発音が良かったりしたし。そんな扱いを受けていました。

一 他には帰国生はいらっしゃらなかったのですか。

◆ 当時は短期留学の生徒はいましたが、帰国生はほとんどいなかったと思います。

《公立高校編入について》

一 先生は公立高校に1年の3学期から編入されていますよね。編入についてお聞きしたいです。教育委員会に聞くと、編入に関しては、そのときの空きがあるかないかと、あと校長の判断で編入学が決まると。先生は編入のときにはどの教科の試験をして入られましたか。

◆ 当時とシステムが変わっていなければ、編入試験は、定員に欠員があるかどうか調べる時期があります。欠員があって申し込みがあれば、その生徒に学力検査をすると思いますが、たぶん英・国・数で行われると思います。

僕の個人の経験なんでそれぞれ違うと思いますが、3学期から編入するのであれば2学期末のテストでどれだけ点数が取れるかどうかと言われました。直前の定期テストを受けたようです。

一 高校編入試験は日本語ですよ。学んでいない単元があると思うのですがどうやって埋められたのですか。

◆ 編入の時期を考えて一人で10月に帰ってきて祖父と二人暮らしをし、試験までの約3カ月独学で勉強しました。受験科目は英・国・数だったと思います。

一 どの程度の点数がとれたら合格となるのでしょうか。

◆ 点数を教えてもらったわけではないです。教育委員会に佐野高校と住吉高校を提示されてどちらにしますかという話になりました。帰国する時期など色々あると思うのですが、頑張れば編入してからもついでいけるのではないかと思いました。

一 帰国生が公立の高校に入学して授業についていくのは大変なことだと思いますが、どんな準備が必要ですか。

◆ 僕自身は教科書を暗記するほど読んでいました。日本の中学のときからそうしていたので、基本与えられた教材をしっかり読み込む、それで足りるんじゃないかと思っています。日本のものを手元に置いて、それに触れるとよいかと。教師の立場から言うと、学校は、基本教科書に出ているものをやります。最近の教科書はとても質が高く、面白く読めるので、読み物として手元に置くのもいいです。自分はそうやってきたというだけなんですけれども。

《帰国生の編入、入学について》

- 早めに帰国して日本の中学にいったん入って、帰国入試に限らず一般入試も含めて、たとえば府立高校を目指したい場合の勉強はどうでしょうか。教科書を漏れなく十分やっておけば受かりますか。府立高校も学校によって問題の質、ランクも違うし目指すところによって違うかと思いますが。
- ◆ 帰国されてから入試までの期間の長さによるかな。あまりに短い場合は、どんな問題が出ているかというところから遡っていけばいいかと思います。時間がしっかりとれる場合は、本質的なところを学んでいけばいいかと思います。将来的に府立高校進学を考えているのであれば、教材のようなものを持って行き準備しておけば楽かもしれません。
- 一般入試で、日本で生まれ育った生徒たちと同じ土俵で戦う場合は、内申点の問題とかいろいろあるので、いったん日本の中学校に編入されて実際に内申点を取られてから中学の先生に相談してくださいとアドバイスしています。近ごろは幼いお子さんだけでなく、中学生や高校生の子を連れて海外赴任される方も多いです。大学までそのままいられたらいいんですが、途中帰国とかになると入れる学校を探さなければいけなくなります。
- ◆ 中学の途中で帰国しなければいけなくなった場合は、帰国生選抜の条件に当てはまっているかどうかを、高校の途中の場合は、どんな編入の方法があり、どの学校に枠があるのかを、早めに教育委員会に確認することをお勧めします。
- 教育委員会に行って、編入の方法を聞くと、入れてくれるかどうかは最終的に学校の判断ですと言われます。実際に受けた子受かった子がいるかもしれないし、落ちた子がいるかもしれないしわからないです。もちろん空きがないと試験さえ受けさせてもらえません。そのときの状況によっても違うから難しいです。ですが、先生のように編入で入られて活躍されたというのは、帰国生への一つの選択肢かなとも思います。

《多様化する帰国生をとりまく環境》

- 帰国生を取り巻く環境は先生が帰国された頃と今は全然違いますよね。今は学校に外国人も、留学生もいると思います。一般論として、今は帰国生だけでなく国際的な生徒も多くなっていますが、そういう状況に対して帰国生はどのように捉えるべきか、親はどのように考えて自分の子どもが伸びるようにしていくべきでしょうか。
- ◆ 考えたことなかったですね。うちの学校に関して言えば、在日韓国の生徒もいれば、中国からの生徒や帰国生もいます。日本語の能力に問題がなければ帰国生は特別なケアをされずにいるので、特に差を感じたことがないです。僕が生徒だったときより、今は色とりどりになっている。でも乖離はしていない。日本で育ってきた生徒も、特に何も考えずに付き合っているのかな、外国人を見つけたからといって特に意識して話しかけるといこともないです。親御さんがどのように捉えているのかということ聞いたこともないです。
今はコロナの関係で外国からの留学生がほとんどいなくてちょっと寂しいなと思いますが、留学生がいたらいたで、アジアじゃない生徒がいるなど、それだけのことです。
- 国や文化の多様性が周りに及ぼすいい影響はありますか。
- ◆ 生徒たちはかなり仲がいいんですね。見た目からも違うし、言葉も違うし、普通に外国語が飛び交ったりする学校なので。高校生特有のグルーピングというのがあるんですが、遠足の班分けでも困ることもあまりないです。人間関係を飛び越えたところで一緒にいるわけなので、そういった意味ではいいかもしれないですね。
- 先生が赴任されたときからいろいろな国の生徒がいましたか。
- ◆ そうですね、そのときからいろいろな国の生徒がいたのが普通でした。歴史問題とか気を遣いますけど、でもそれも乗り越えられるかと思います。一方的な偏った考え方には走らないだろうと。どんな国の生徒がいても、その生徒はいいやつだったりクラスメイトだったりなので、そこはハードルが低くなっているというか、おおらかに「国と国はそうだったよね」と捉えられるんじゃないかと。あの子はどこの国の人かということは一切ないです。

《英語の教諭として》

一 英語の先生になろうと大学のうちから決められていましたか。

◆ 英語を使って仕事をしたい、大学の体育会のバスケットボール部にも入っていたので、バスケと英語という教師かなと。「子どもといったら若くいられるかなと思うので」と面接で言いました。いつまでも若くいたいので。時代が変わっていているので、今もし生徒と接していなかったらインスタとかも分からないし、「推し」や「エモい」なんていう言葉すらも分かっていないと思います。おかげさまで今の高校生は何に興味があるのかよくわかります。ただ、気がかりなのは、「エモい」を会話で使っても、「それっていったいどういうこと？ 説明して」と言うと、今の生徒は答えるのに困ってしまうところです。

一 最近の教育ではプレゼンテーションをしますよね。

◆ 今の生徒はプレゼンのために原稿を書いて、読んだりするのは得意かもしれないです。英語の発音も今の生徒はすごく上手いです。でも瞬間的なコミュニケーションが弱かったりしますね。それを思うと、まず英語より国語をやるうかとなります。日本語でまず色々なことが表現できるようにならないと、とてもじゃないけど英語で考えを述べるのは無理だと思います。

《英語学習についての考え》

一 今の英語学習のポイントを教えてください。

◆ 言語習得って環境がとても大きいと思います。日本の生徒たちは入試のための勉強というのが英語学習の環境であるので、自分が学んできたものとはだいぶ違うと思います。僕は英語をやらざるを得なかった環境と浪人も経験しているので、そこを上手く合わせて伝えていけたらと思って教えています。予習で知らない単語に線を引っ張って訳してこいとは絶対に言わないです。センター入試が共通テストに変わって、細かいことを聞かなくなったので、大体の単語の意味をわかっていけばいいという感じになっています。しっかり声に出して読ませることが多いですね。シャドウリーディングとか、かわるがわる読むとか、スピーキングで意味を伝えてということをやろうとしています。



一 聞く・話す力は入試に生きてきますか。

◆ 読むだけじゃだめだろうなと思いますが、今の生徒たちって、見て書くだけで終わっている部分があります。単語って声に出して読んだ瞬間に前後関係や単語そのものの音とか語感で、大体こんな意味かなとつかんでほしい。言葉の本質ってそういうものじゃないかと思います。

一 最近はAIが発達してきていて声を通せば翻訳してくれますが、生徒になぜ英語を勉強しないとイケないのと言われませんか。

◆ うちの生徒は賢いので、なんで勉強せなあかんのとは言わないですけど、例えば宿題を出したら、日本語で書いた文を翻訳機を使って提出する生徒もいます。

一 それは見てわかりますか。

◆ 分かります分かります、不自然極まりない英語なので。書いた日本語の主語・目的語・動詞がちゃんとしていないから、訳せと言われてるAIがかわいそうです。

一 それは国語力の問題じゃないですか。

◆ そうです。先ほども言いましたが物事を描写する力がないので。

- 帰国生云々に関わらず、母語がきちんと確立されていない子どもたちがいくら英語を学んでいっても英語ができないということでしょうか。
- ◆ 逆に、英語がちゃんと分かっていたら最初はぎこちなくても、英語をそのまま日本語にして習得していけばいいかなとちょっと思いました。
- 要は第一言語が確立していれば第二言語への転用は簡単だということですね。帰国生たちにも中途半端な母語のまま現地校に行き、そのまま帰国ということもよく聞きます。第一言語も中途半端、第二言語も中途半端なままだと、思考言語が育たないので学習言語も伸びていかない。そういう問題をもつ帰国生も多いと聞きます。

《生徒たちの傾向》

- 今の学校の生徒さんにもまずは教科書を勉強せよと言われていませんか。
- ◆ はい、そうですね。塾に行って何とかしようとか、問題集だけやって予想問題を解いてとか、そういう生徒が多いので力がない生徒が増えています。授業で全部やっているのにそれを使って学ぶというのがなかなかできないです。
- 授業をあまり聞いていないということですか。
- ◆ 想像力をもって授業を受けていないんだと思うんです。AだったらAを教わるけれど、Aを使って次A'、Bに変わっていくという学びの本質の部分が、一対一でしか入っていないんでしょう。問題を解けなかったら意味がない、問題をやらせる、問題の答えを早くくれという生徒が多いです。

《高校生のスマホ事情》

- 今の生徒さんはスマートフォンとかタブレットなどを勉強によく利用していると思われませんか。
- ◆ 勉強に利用しているかどうかはわかりませんが、ほぼみんな中毒です。1日に5~6時間使っているけれど勉強にはあまり使わないんじゃないかな。学校で某会社の勉強アプリを利用したことがあって、案内を出して希望者が契約したんですが、利用率が全然伸びてきませんでした。テスト範囲などは教室掲示もしますが今はオンラインで大体こっちから送っちゃうんです。すると、よくできる生徒が、「先生、テスト範囲を一枚にまとめて紙で欲しい、スマホで見てしまうと勉強の気が散るから」と。スマホはそこから繋がって色んなことができてしまうので、スマホを持った瞬間、勉強というよりは違うことに気がいっちゃうのかなと思います。教え方の上手いユーチューバーがやっている動画も、それって結局教科書から学んでいるわけではなく、その先生の教え方が良いからとか、私にはこれが合っているからとか、この人の再生回数は何百万回だからいいとか、そういう基準で見に行っているのであまり力になっているようには思いません。

《今どきの受験生》

- 最近は総合型選抜(旧AO)入試が多くなってきていますが、今の高校生は授業を重視して推薦に得になるようないい成績を取ろうという生徒が多いのでしょうか。
- ◆ 総合型選抜(旧AO)入試で受ける生徒の数はそんなに多くないです。例えば英検の1級や準1級を取ってれば受けられますよとか、ボランティアをしていたら受けられますというのはあると思いますが。やはり一般入試で受ける生徒が多いと思います。そこで学校の勉強をしっかりやる生徒と、学校より塾で受験対応だけする生徒については、分かれるかと思えます。教師の立場から言うと、塾に頼らなくても勉強できる生徒たちを育てていかなければという話はしているんです。でも、今の生徒たちはすぐに答えや結果を知りたがるから、教えてくれるところが好きな生徒は多いです。
- 何割ぐらいの生徒が塾や予備校に行っていますか。
- ◆ 3年になったら多分8~9割、進学しない生徒以外はほぼ全員行っていますね。ただ超難関校に進学する生徒は塾に行っていないです。自分で本質を見極めて勉強できるという生徒に塾はいらないです。教科書からどんな問題が出るかというのを想像できない生徒は塾に行きます。そして答えを教わるのです。すごくそれがよくわかりました。

- 学校の授業に、クラブをやってその後塾に行くというのは大変だと思いますが。
- ◆ そうですね。ただクラブの引退というのは早く、3年生になったらすぐクラブをやめて受験に切り替える生徒は多いです。塾もクラブが終わってから通える時間帯を設定していますが疲れますよね。
- それが今の高校生の現実ですか。
- ◆ 僕の中ではクラブをやっている生徒が減っているかなという気はします。やっても運動部ではなくて文化部に週2回とか。

《わかりあうのは難しい》

- 会報インタビューで「海外生活で相手のことを全て分かり合えることはないということがわかった。だから知ろうとすること、妥協点を探そうとすることが大事」とおっしゃっていましたが、生徒にもそのようにお話をされていますか。
- ◆ それは大いにありますね。僕、初めから言いますから。たとえば「これは学校のルールだから付き合ってくれ」とか、「僕はこう思うから授業にはこうついてきてくれ」とか。そういえば生徒たちはおとなしく黙って聞いてくれていますね(笑)。
- 生徒がそれを理解しているかどうか…。
- ◆ わからないですね。クラス開きのときに、「君らの担任、僕になったからしょうがない諦めてくれ、こういう人間もいる。君らもいろんな人間と接するやろ、鬱陶しい大人として付き合ってくれ」と言うんです。だから絶対にすべて分かってとは思わないし。しんどくて休んでいた生徒にどれだけしんどいんと聞き、「そうか、でも、僕はそのしんどさの全てをわかってはやれないけど、そのままやったらこうなるよ」と、伝えることだけはしっかり伝えます。
- 生徒たちはそんな先生のことを面倒臭い大人だと思っていますか。
- ◆ 最初は多分イヤだと思いますけど。そのままイヤな子もいれば、最後僕の考え方が好きになった生徒はつき合ってくれますが、グッと入って行って掴んでやろうとは思わないです。学校では、それぞれ一人ひとりの生徒に対してしっかりと目を向けて寄り添ってと言うんですけど、ある程度学校は社会の入り口であると定義するのであれば、ここは最低限のルール、それに合わせてどう付き合うかだと思うのです。嫌なこともあるだろうし、やりたくないこともあるだろうけど、そこはルールと割り切っています。

《辞書について》

- 辞書についてちょっとお話を。
- ◆ はい。これが30年近く前の辞書です。(先生の使い込んだ古い辞書を紹介)すごく大事にしていた辞書です。

- 今どきの生徒は紙の辞書を引かないですね。重いし、電子辞書の方が便利だから。
- ◆ 今の生徒はパッと答えがほしいんだと思います。すぐに早く。生徒たちが辞書を使っているのを見たことがないです。電子辞書は使っていますが。残念だなあとは思いながら。紙の辞書の方が情報が多いと思うんですけどね。

- 学校自体も紙辞書は重いからとか推奨しないのですか。
- ◆ 電子辞書と同時に購入案内はしています。話はするんですよ。昔の人たちは覚えたページを食べた人もいたらしいよと。味も使って、大体この単語はこの位置にあったとか挿絵はこのページにあったとか、イメージしながら単語を覚えたりとか。例文もちゃんと載っていて。電子辞書は多分、例文のボタンを押さないと見えないはずなので、やっぱり印象は薄れるよねと話をするんですが、さっと調べてさっと意味をわかろうとする。難しい時代ですね。



《帰国生へのエール》

- 一 最後に帰国生の先輩として何か言っていただけることがあればお願いします。
- ◆ お家の方のお陰でなかなかの体験をさせてもらえていると思うので、その環境の中でできることを精一杯やっていてほしい。帰る前は不安だろうし、帰ってきた後は苦勞するだろうけど、一生懸命やっていたら門戸は広いし逆にそういった人材を求めていると思うので、今いる場所で頑張っていてほしい。帰ってきて自分しか持っていないアイデンティティができていていると思うので、そこに早く気付いて大事にもらえたらいいんじゃないかと思います。頑張ってください。
- 一 先生のお話が上手なのであつという間に時間が過ぎてしまいました。本日はありがとうございました。

座談会

- 会員** 先生はメキシコにいたときに、こんなところに連れてこられてという葛藤はなかったのですか？
- 清水** 自分が親になって思ったら、自分の両親はすごかったなと。僕を助けようとしなかったんですよ、助けられないから。親父は親父でスペイン語を頑張って勉強するし、母親は母親で大使館のコミュニティに入ろうと頑張っていて、要は自分のことで精一杯で。だから当時は親に対して連れてきてくれてありがとうという感謝もなかったけど、マイナスな気持ちもなかったですね。
- 会員** 先生がもし海外に行かなければならなくなったとき、ご自分のお子さんたちはどうしますか？
- 清水** 時期によると思います。中学校3年間だったら帯同もありかなと思います。逆にそれより小さいときに行ってしまうとたぶん…うーん行かないより行った方がいいのかもしれないけど、そこまで無理して連れて行かなくてもいいかな。もし選べるんだったら、中学の3年ぐらいまで連れて行けるようならいいかなと。これは完全に自己肯定で、僕自身がそうやったからというのがあるんですけど。
- 会員** あるシンポジウムで日本人学校の中の英語の授業がすごくレベルが高いと聞いて、例えば小学校レベルで英検2級を持っている子が珍しくないそうです。英語教育に対するお母さんたちの期待が凄く高いようで。なので校長先生は、英語を教える先生たちに生半可な気持ちで赴任してきてもらったら困るよと言っているそうです。母親は現地で働けないから専業主婦になる、だから気持ちは全て子どもにいく。そうして学校に対する期待度がどんどん高くなる。先日、日本人学校経験者のお母さんが、子どもが今まで行ったどの学校よりも、日本人学校のレベルが英語に限らず高かったと言っていました。
- 清水** 僕は高校で教えているので、英語教育の最後にどこを求めているのかという話になってくるんです。帰国生の生徒に京大の問題を渡してやってと言っても、絶対できないんです。まず書けないし。確かに英語をペラペラしゃべれる生徒がいるけど、全然グラマーが分かってなかったりする。大学に行くのか聞いたら、行きますと。「じゃあグラマーができないとあかんよ」と言います。しゃべれるだけではだめだとわかれば英語の勉強も楽なんですよ。僕は海外に行っていてスピーキングもわりとできるし、教師として受験指導も長年やってきた経験から、大学入試ではどっちかだけだとしんどいかなと感じます。



会員 帰国生たちが受験英語に向かって進んで行くにあたって何が必要ですか？

清水 日本語です。国語力です。英語で聞いて英語であーなるほどねと言うのを「じゃあ日本語で書いてみて」と言った瞬間、止まります。わかっているけど言葉が出てこないと言います。僕は「それやで、新聞読め、本読め」と言います。国語の先生と連携をとって、まず国語の教科書をしっかり読ませるようにします。まとまった量の日本語の文章を読めるようにならないと、当然自分で作り上げることができないので。なんとなくわかるは何もわかっていないのと一緒に。英作文とか和訳が入試の世界から消えれば、多分変わっていくのかなとは思いますが消えない。日本の教育は絶対に変わらないと思います。

入試においても、どうしても文法の問題とか、使うかわからないような英語をやらないといけないのです。共通テストから文法の問題が消えましたが、やっぱり長文を読んで意味を問うたり訳したりとかが残っています。

会員 帰国生はどうやって英語の力をつけたらいいんですか？

清水 海外の経験がない生徒たちにも、今の入試制度は平等だと思うんです。今の入試制度は、あながち悪いわけではないと思います。しゃべれるだけで大学に行けるんなら、当然海外に出たほうがいいし。帰国生たちがどうしたらいいか…どうしましょうか…。

会員 帰国生といっても日本人学校、インター校、現地校、また海外にいた期間、年齢などさまざまですが、帰国生が何かを伸ばしたいと言ったときに、英語力を伸ばした方がいいのか、国語力を伸ばした方がいいのか、その配分はと聞かれたら、先生はどうお答えになりますか？

清水 英語ができる帰国生であれば、それ以外でいったほうがいいと思います。今大学入試のほとんどは、英語ができれば英検1級、準1級レベルで英語については合格点が取れると思うので、それ以外の科目で頑張った方がいいかな。幼少期だったら絵本、小学校だったら物語でもいいと思いますけど、近くに興味深い読みたくするような本があって、読書習慣は、親から受け継ぐことが多いので、親が楽しそうに本を読んでいるとか、常に新刊が並んでいるとか、そういった中で日本語に触れる機会が増えていけば、どちらも伸びて行くかと思います。

会員 お話をうかがっていると、読む力が基本だということを強く思いますね。

清水 そうです、良い文章に触れないといい言葉が出てこないの。僕は20代後半から本を読むのがめちゃくちゃ好きになって、それまではそんなに読んでいなくて。例えば1カ月本を読まない、出てくる言葉が全然違ってくるんです。授業中でも、ポンポンと出てくる言葉がぱっと出てこなくなったりとか。日本語の本ですが。入試英語ばかりやっていると英語が出てこなくなって、そういうのって生き物、ナマものだなと思います。使っていないと、奥の方にあるんだろうけど出てこなくなると感じます。

会員 インター校の勉強って、日本の勉強と違いますよね。アメリカだとクリティカルシンキングとか。学ぶ内容も、社会とか理科とか日本と内容が全然違うかと思いますが、先生は2年間インター校に行って、その部分(日本の教育部分)が欠落していて、高校でまた日本の学習指導要領の勉強になりましたが、そこの切り替えは大丈夫でしたか。学ぶ内容も学び方も違うし。

清水 確かにそれはありましたね。繰り返しになりますが、習った教科書を読むようにして、先生の言っていることを聞く、見たり書いたりする、というのは向こうも同じなので。科目はいきなり物理をやらされたりということはありましたが。内容は違いますが、やり方についてそんなに無茶苦茶違ったことはないかと思います。

会員 歴史や地理など、基礎となる中学での学びが抜けていることで苦労はありませんでしたか。

清水 後々ボディーブローのように…ひょっとしたらそうだったのかも…。僕、最後まで日本史が伸びなくてすごく困ったんです。聞いたら、やっぱり中学の間にやっているんです。そして更に高校でやっている。あと、数学の証明問題はまったくわからないです。高校の授業の中では何とかやりましたが。高校だけの評価で言えば、授業をしっかりやっていたらテストの点数もとれるし先生も評価してくれるので、そこではなんとも思わなかったのですが、大学入試のとき、ああやっぱりそうか、やり直しなんだと気づきました。今、娘たちが中2、高2になって勉強しているのを見て、「ああ、中学校のときにこれを習うんだ」と今思います。

僕は浪人したのがよかったですね。入試の本質ってこういうことかと分かるんです。もっと早く教えてくれよと思いました。僕はそれこそ教科書だけやり過ぎていただけの話で、視点が全然変わったので。今の仕事につくにあって大きいですね。

会員 普通の生徒はそこが分からないまま受験に突入して、失敗して浪人して…。

清水 これだけやっていたら大丈夫だから、というところまでの安心感を与えられていないんでしょう。「これやったら大丈夫」って言うんですけどね。「今これからどんな授業をしようとしているか想像力を働かせて聞いているか？」ということをお話しても、ただ聞いて書いてそうかと、黒板を写して。写したからどうなんだ、何のために書くんだという話に…難しいですね。

会員 せっかく先生がいい話を言っても、伝わりきらず難しいですね。

清水 今の生徒は忙しいんでしょうね。塾も行かないといけないし、すぐにお誘いの連絡も来るしフォローしないといけないし、動画見ないといけないし、返信しないといけないし。

会員 携帯(スマホ)を使用しない生徒さんっているんですか。

清水 誰もいないと思います。中学校から持っていると思います。

会員 私は、持っていてどう使うかだと思うんです。その子によって使い方が違うじゃないですか。どこで何時間ぐらい使っているとか時間帯とか。先生はお子さんに、使い方についてアドバイスはしていますか？

清水 スティーブジョブズを真似して、持たせたくないけどという話をしながら、何時間超えたらあかんとか、使いたいアプリも時間制限で、これ以上使いたかったら言いきなさいと。寝室、二階には持って上がらないルールとか。学校でも言っているんですが、取り上げるのは無理だから、スマホがある前提でコミュニケーションツールにきなさいと。そういう方向で家でもやっています。うちの娘の携帯は夜10時に切れます。iPhoneだとそれができますので。

会員 先生は生徒たちと部活の連絡はLINEを使いますか？

清水 使います。欠席連絡は当然LINEではなくて、事前にわかっているときは直接知らせなさいと言っています。LINEは連絡事項がめちゃくちゃ多い時とか、これ相談しておいてねとかそういったときと使い分けています。言っておかないとくだらないことでも連絡してくるようになるし、夜中とか日曜日とか関係なくなってしまうので、それはひとつひとつ指導しています。ただそれは僕らの世代の感覚なので、若い子らは全然気にしない。みんながそういう時代になればいいのかもしれないですけど。今の生徒たちが就職する頃は、絶対僕ら世代がそれこそ上司とかなので、「上司にはちゃんと顔見てニコッと挨拶して、LINEじゃなくて足運べばええで」と伝えています。

先生長時間ありがとうございました。

相庭 祐子・田沼 真美子・田中 典子・宮本 みゆき

